

令和5年度 事業報告及び事業報告附属明細書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

社会福祉法人志木市社会福祉協議会

目 次

令和5年度事業報告	-----	1
事業報告附属明細書	-----	3
〈地域福祉課〉		
1 法人運営	-----	3
2 地域福祉	-----	6
3 法人後見事業	-----	6
4 基幹福祉相談センター	-----	11
〈長寿えがお課〉		
5 居宅介護支援事業	-----	13
6 訪問介護事業	-----	15
7 地域包括支援センター	-----	17
〈ふれあい交流課〉		
8 志木市総合福祉センター	-----	21
9 宗岡第二公民館	-----	23
10 志木市福祉センター	-----	25
11 志木市第二福祉センター	-----	25
12 障がい者通所施設（生活介護）	-----	29
13 障がい者通所施設（就労継続支援B型）	-----	29
14 地域活動支援センター	-----	33
〈こども未来課〉		
15 志木市児童センター	-----	35
16 宗岡子育て支援センター	-----	35
17 放課後子ども教室・学童保育クラブ	-----	38

令和5年度 事業報告

1 総括

近年の少子高齢化の進行や人口減少、住民相互のつながりの希薄化など、社会環境の大きな変化により、「8050問題」「育児と介護のダブルケア」「ヤングケアラー」「引きこもり」「社会的孤立」といった福祉や生活への課題は多様化・複雑化しています。

昨年5月には新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行し、さまざまな制約が解除されたことにより、社会・経済活動は急速に回復しつつあります。しかしながら、長期にわたる新型コロナウイルス感染拡大の影響や物価高騰など市民を取り巻く生活環境が一層厳しさを増す中で社会福祉協議会には、時代の変化に合わせた地域づくりの中核的役割を担うことが期待されています。

また、大きな被害をもたらした令和6年能登半島地震など近年、自然災害が全国各地で頻発する中、災害時に備えた支援体制づくりも重要となっています。

このような中、今年度の事業運営にあたっては、第5次志木市地域福祉活動計画の「みんながつながり、安心して自分らしく暮らせるまちの実現」の理念のもと多様な福祉活動を展開してまいりました。

また、「つながり」の再構築を目指して、ボランティア活動や地域福祉活動を推進するとともに、各事業所においては、福祉サービスの適切な提供に努め「地域共生社会」の実現に向けた様々な取り組みを実施しました。

さらに複雑かつ多様化する地域福祉課題に応え、身近な地域で気軽に相談することができ、円滑に福祉サービスを受けることができるよう、様々な連携を進め、きめ細かな相談・支援活動を展開してまいりました。

2 重点的な取り組みについて

(1) 地域福祉活動の推進

地域のサロン活動など小地域を基盤とした福祉活動を支援し、福祉コミュニティの形成を促進しました。また、若年層に対するボランティア活動の情報提供を積極的に行うため、公式LINEを開設してボランティア情報を発信するなどIT環境を活用した事業体制を構築しました。さらに志木市地域防災計画に基づき大規模災害に対応できるよう志木市町内会連合会、志木市民生委員・児童委員協議会と本会の3団体合同で災害ボランティアセンター運営研修を実施することができました。

(2) 生活困窮世帯等への支援の充実

新型コロナウイルス特例貸付借受人へのフォローアップ支援や生活が困窮し不安を抱えた市民に対し、相談支援を行いました。また、ひとり親家庭に地元食材、市内事業者を活用した食支援を行うとともにフードバンク事業を実施して生活困窮世帯へ食品等を提供する支援活動を行いました。

(3) 総合相談支援の充実

志木市基幹福祉相談センターでは、福祉に関する総合相談窓口として生活困窮者、障がい者、高齢者及び子どもの自立支援など、各制度・分野にわたる複合的な生活課題に対応するための相談支援を行いました。

(4) 高齢者・障がい者支援の促進

居宅介護支援事業所、相談支援事業所、訪問介護事業所、地域包括支援センターでは、包括的かつ継続的な福祉・介護サービスが提供できるよう重層的なネットワークを構築しました。また、多職種でのケア会議の開催や関係機関との連携を強化し、その人らしい生活の維持・向上につなげる支援を行いました。

さらに、地震や豪雨などの災害に備えた支援体制の構築を図るため、柏町において、個別避難計画の作成支援を行うとともに事業所ごとに業務継続計画を策定しました。

(5) 地域福祉拠点の利用促進

総合福祉センター、宗岡第二公民館では、感染状況に応じて利用条件を緩和するなど、安心して利用できる施設運営に努め、利用者数を大幅に増やすことができました。また、3月には、新型コロナウイルス感染が流行した以降、初めてとなる制限・制約のない総合福祉センターまつりを開催し、参加者の「親睦と交流」を深めることができました。

福祉センター、第二福祉センターでは、スマホ操作に不慣れな高齢者への支援を新たに実施するとともに、各種介護予防事業を通じ身体機能の維持向上と孤立防止を図りました。

(6) 障がい者支援体制の整備

障がい者通所施設では、車椅子利用者などの重度な障がいがある利用者も一人ひとりの能力に応じた就労環境が提供できるよう、車椅子用送迎車を導入することで訓練・就労機会を拡大し、利用者の平均工賃の増額を図りました。

また、地域活動支援センターでは、機能回復訓練の指導をいただく専門職の充実を図るなど、受け入れ体制の強化を図り、参加率を高めることができました。

(7) 子ども支援の充実

児童センター、宗岡子育て支援センターでは、子育て中の保護者の関心が高い「キッズマネーセミナー」や地域住民の協力のもとワークショップを行う「こどもマルシェ」を新たに実施し、児童の健全育成の機会の充実を図りました。また、地域の育児情報や交流の場を提供する事業を対面とオンラインで同時に開催し、孤立した育児にならないよう支援を行いました。

放課後子ども教室・学童保育クラブでは、地域で活動する方々に「市民先生」として講師となっていただく体験プログラムの充実を図り、より多彩な体験・交流活動を展開し利用者の増加を図りました。

1 法人運営

(地域福祉課)

1 事業の概要

社会福祉法人志木市社会福祉協議会の事業全体の管理及び総合的・計画的な事業執行を行うための組織管理を行う部門として、各課間の連絡・調整を図り、適正な法人運営を推進した。

2 重点事業及び新規事業（重点事業：**重**、新規事業：**新**）

重 広報担当者会議の実施

本会の認知度向上を目的とした広報担当者会議を全事業所の広報担当で組織し、社協だよりやホームページ、SNSを活用した情報発信について情報共有や広報意識の共有を図り、効果的な広報活動の基盤を整備した。

新 適格請求書制度の実施並びに電子帳簿保存法改正への対応

適格請求書（インボイス）制度の実施並びに電子帳簿保存法の改正に伴う電子取引情報の保存等が義務付けられたため、事務処理マニュアルの作成や様式の整備を行った。あわせて全事業所を対象とした説明会を開催し、制度改正に適切に対応した。

3 主要な施策の成果

(1) 法人運営・役員活動

① 会議など

ア. 理事会 3回

回数	月日	出席者または 合意／定数 上段 理事 下段 監事	議案番号	主な内容
第1回	5月31日	12／12人 2／2人	第5号 第6号 第7号 第8号 第9号 第10号	評議員選任候補者の推薦について 役員候補者について 定款の一部を変更する定款について 令和4年度事業報告及び決算の承認について 令和5年度定時評議員会について 令和5年度評議員選任・解任委員会について
第2回	6月29日	12／12人 1／2人	第11号	会長、副会長及び常務理事の選定について
第3回	3月1日	12／12人 1／2人	第1号 第2号 第3号	役員等賠償責任保険の更新について 令和6年度予算及び事業計画について 令和5年度第2回評議員会について

イ. 評議員会 2回

回数	月日	出席者または 合意/定数	議案番号	主な内容
第1回	6月28日	15/17人	第2号～第13号	理事の選任について 第14号 監事の選任について 第15号 監事の選任について 第16号 定款の一部を変更する定款について 第17号 令和4年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録並びに事業報告の承認について
第2回	3月28日	14/17人	第1号	令和6年度予算及び事業計画について

ウ. 評議員選任・解任委員会 1回

エ. 監事会 1回

② 団体との渉外活動

ア. 総会 16回

イ. 新年会、記念式典等 10回

ウ. 寄附 3回

エ. 後援(協力)活動 5件

③ 寄附金の受け入れ 24件 621,522円

(2) 事務局活動

常勤職員8人分の人件費及び事務所の維持管理費など、必要な費用を支出した。

① 課長会議（全体会議） 12回

② 衛生委員会 12回

③ 代表委員会議 2回（書面開催）

(3) 相談援助実習（社会福祉士）

2大学 計2人 延べ23日

(4) 組織強化活動

① 会員募集及び募金募集

ア. 地区委員会 1回

イ. 町内会加入実績 5,155,500円（うち特別会費 126,000円）

ウ. 事務局加入実績 1,039,500円（うち特別会費 933,500円）

計 6,195,000円（うち特別会費 1,059,500円）

エ. 赤い羽根募金実績 3,567,935円

オ. 地域歳末たすけあい募金実績 2,270,622円

② 福祉功労者表彰 7人、1団体

埼玉県社会福祉大会会長表彰 1人

③ 職員研修

職員基礎研修 2回 10人

管理・監督者研修 1回 16人

(5) 広報活動

① 社協だよりの発行

年4回 各26,200部(全戸配布)

② ホームページ・SNSの運営(3月31日現在)

ア. X(旧Twitter) フォロワー数 494人

イ. Facebook フォロワー数 410人

ウ. Instagram フォロワー数 273人

③ 広報担当者会議 4回

(6) 福祉サービス適正運営

① 第三者委員会 1回

② 苦情受付件数 13件(第三者委員による対応なし)

③ 事故発生件数 75件

2 地域福祉

3 法人後見事業

(地域福祉課)

1 事業の概要

小地域を基盤とした福祉活動を支援することにより、福祉コミュニティの形成を図った。また、地域住民の福祉・障がい理解を進めるとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティア・市民活動の育成、援助を行った。さらに会員会費や共同募金配分金を活用し、公的制度を重層的に補完するための事業や地域で支える在宅福祉活動を展開した。

2 重点事業及び新規事業（重点事業：**重**、新規事業：**新**）

重 災害ボランティアセンター合同運営研修の実施

志木市地域防災計画に基づき、志木市に大規模災害が発生した場合の災害ボランティアセンター設置に向けて、地域団体との連携方法を考えるための災害ボランティアセンター合同運営研修を、町内会連合会及び民生委員・児童委員協議会との3団体合同で実施した。

新 公式LINEの開設

若年層に対するボランティア活動の情報提供を効果的に行うため、公式LINEを開設し、ボランティア活動希望者にボランティア情報を発信した。あわせてトーク機能を活用したボランティア相談の場の提供やボランティア活動のオンライン申し込みなどIT環境を活用した事業体制を構築した。

3 主要な施策の成果

(1) 地域福祉活動

① 地域福祉活動計画の推進

地域福祉推進委員会 2回

② 生活支援体制整備（市受託事業）

ア. 第1層協議体の実施 7回

イ. コーディネーター会議の開催 3回

ウ. 第8回生活支援体制整備事業連絡会 50人参加

エ. 「大人のビタミンクラブ」活動体験会 志木地区編 55人参加

オ. 「大人のビタミンクラブ」活動体験会 総合福祉センターまつり編 485人参加

カ. 第2層協議体への参加 27回

キ. 地域ケア会議への参加 10回

ク. 食の場づくり担い手育成・食育推進事業運営推進会議への参加 3回

ケ. アクティブシニア社会参加支援事業への参加 1回

③ ふれあい健康交流会事業（市受託事業）

ア. 利用者登録数 118人

イ. ボランティア団体数 5団体

④ 家族介護者交流事業（市受託事業）

月日	参加者	内容
8月30日	介護者10人、協力者等7人	講演会「介護の息抜きのいろは」
11月15日	介護者11人、協力者等3人	さいしん福祉財団主催日帰りバス旅行 「劇団四季観劇とランチ交流」
2月2日	介護者7人、協力者等3人	介護者日帰りバス旅行 「行田八幡神社参拝と忍城散策」

⑤ 小地域サロン活動の支援

ア. 支え合い・助け合い活動支援事業

支援内容	件数 (件)	金額 (円)
活動支援	34	—
事務費の支給	32	157,368
保険の加入	33	286,705
会場費の支給	18	460,266
広報物の支給	2	—
備品の貸出	24	—
イベント開催費の支給	2	25,472
備品購入費	2	18,950

イ. 子どもの居場所ネットワーク交流会への参加 4回

⑥ 詐欺被害防止電話機等購入費補助金 31件 301,800円

(2) ボランティア・市民活動センターの運営

① ボランティアに関する相談・調整・情報提供

ア. 相談・調整・情報提供件数 延べ30件

イ. LINE登録者 87人 (3月31日現在)

② ボランティア活動団体助成申請支援

種別	事業数 (件)	延べ団体数 (団体)
助成情報案内	17	114
申請支援	6	9
助成決定数	8	9

③ ボランティア関連保険

ア. ボランティア活動保険 1,425人

イ. ボランティア行事用保険 93件

④ ボランティア体験プログラムー福祉学園ー

全50コース 延べ196人参加

- ⑤ ボランティア育成
 - ア. 手話奉仕員養成講習会入門課程（市受託事業） 22人参加
 - イ. 手話奉仕員養成講習会基礎課程（市受託事業） 22人参加
 - ウ. 点訳ボランティア養成講座 9人参加
 - エ. 音訳ボランティア養成講座 6人参加
 - オ. 傾聴ボランティア養成講座 21人参加
- ⑥ 学校における福祉教育
 - ア. 福祉体験実績
 - 小学校 8校 58件
 - 中学校 3校 8件
 - イ. 朝霞地区四市福祉教育研修会 延べ80人参加
- ⑦ 地域福祉教育
 - ア. 聞こえない人の気持ちを考える講座 12人参加
 - イ. スマートウォーカー育成講座（市主催）「地域活動の楽しみ方」 17人参加
 - ウ. 出前講座（老後を快適に暮らす会） 2回 30人参加
- ⑧ 災害ボランティアセンター
 - ア. 研修・訓練
 - 令和5年度災害ボランティアセンター合同運営研修 112人参加
 - イ. 職員派遣
 - 令和6年能登半島地震（石川県内灘町） 1人派遣（5日間）
- ⑨ フードバンク事業 延べ370世帯

(3) 在宅福祉活動

- ① たんぽぽ生活応援隊
 - ア. 年間活動時間 1,344時間50分
 - イ. 年間活動回数 1,029回
 - ウ. 利用者 359人
 - エ. 協力員登録者 47人
- ② 福祉機材（車椅子、ポータブルトイレなど）の貸出 延べ186件
- ③ 福祉車両利用料補助 延べ8件 52,300円
- ④ 災害見舞金 6件 70,000円

(4) 共同募金配分事業

① 地域福祉活動助成金

助成事業名	地区数・件数	助成額（円）
地域のつながりづくり支援		
地区敬老会支援	17地区	493,600
世代間交流支援	22地区	850,236
福祉施設訪問支援	1団体	26,400
在宅高齢者訪問支援	2団体	54,300

地域活動支援	40地区	1,625,700
生活を支える活動支援		
生活サポート活動支援	13団体	350,000
社会参加支援	7団体	220,100
障がい者交流支援	1団体	13,500
戦没者遺族会活動支援	1団体	150,000
ボランティア活動保険補助	732人	146,400
合 計		3,930,236

② 介護用品購入支援事業

ア. 利用者 334人

イ. 介護用品及び購入支援数

介護用品	購入支援数
プラスチック手袋	200組
防水シート	183枚
手指消毒剤	84個
食事用エプロン2枚組	48組
浴槽すべり止めマット	55枚
ポータブルトイレ消臭錠	20個

③ 地域でつながる子育て応援事業（カパルリュック・子育て応援本の配布）

受付場所	申請件数 (件)
いろは子育て支援センター「にこまある」	54
西原子育て支援センター「まんまある」	29
宗岡子育て支援センター「ぼけっと」	66
子育て支援センター「ぶちまある」	87
子育て支援センター「めばえ」	13
合 計	249

④ 生活困窮世帯支援事業（ひとり親世帯を対象として、お米やお菓子などを提供）
申請者（世帯）数 208世帯

(5) 福祉サービス利用援助事業

① 実施体制

専門員4人（常勤兼務3人、短時間勤務職員1人）、生活支援員8人

② 利用状況

ア. 契約件数 14件（新規4件、契約終了5件）

イ. 分野別契約件数 (件)

高齢者	知的障がい	精神障がい	その他
8	1	4	1

③ 相談・対応件数

相談日・時間	件数 (件)
月～金曜日 8時30分～17時15分	1,412

(6) 法人後見事業

① 利用状況

ア. 保佐人 5件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
1件	—	5件	90代女性1人、60代男性1人、70代女性1人、60代女性1人、50代女性1人

イ. 後見人 13件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
—	1件	13件	90代女性1人、80代女性2人、70代女性1人、50代男性3人、50代女性1人、40代男性2人、40代女性2人、30代男性1人

ウ. 後見監督人 2件

新規受任	受任終了	受任件数
—	—	2件

② 相談・対応件数 2, 4 2 4件 (件)

事務(身上保護・財産管理)	1, 9 1 0
職員訪問	4 6 7
権利擁護支援員訪問	4 7

③ 運営委員会及び支援員会議

ア. 権利擁護推進事業運営委員会 1回

イ. 権利擁護支援員会議 2回 13人出席

④ 会議・研修

ア. 専門員会議・研修 4回

イ. 志木市成年後見制度利用促進調整会議 6回

ウ. 志木市後見ネットワークセンター企画運営会議 6回

エ. その他会議・研修 7回

(7) 生活福祉資金貸付事業

① 生活福祉資金本則貸付 (件)

新規	償還完了・償還免除	償還・据置中
10	14	100

② 生活福祉資金特例貸付

フォローアップ件数 (件)
17

4 基幹福祉相談センター

(地域福祉課)

1 事業の概要

基幹福祉相談センター（生活相談センター、後見ネットワークセンター、障がい者基幹相談支援センター）業務を受託し、生活困窮者、障がい者、高齢者及び子どもの自立支援など各制度・分野にわたる複合的な生活課題に対応するために専門的な相談支援を行うとともに基幹となる役割を担い、関係支援機関等と連携を図った。

2 重点事業（重点事業：**重**）

重 総合相談窓口の実施

福祉に関する総合相談窓口として、複合的、包括的な支援を要する相談に対し、関係機関、専門機関などと連携をしながら、市民の相談支援を実施した。

生活相談センターでは、複合的な課題を抱えたケースの増加に伴い、他機関との連携強化に努め、伴走型の中長期支援を行った。また、新たに志木市から受託した「就労準備支援事業」では、個別プランに基づいた各支援メニューを実施することで、地域資源と繋がる機会が増加し、孤独孤立を防ぐ居場所づくりの一步につながった。

後見ネットワークセンターでは、法律専門職や地域の福祉事業者等と連携し、権利擁護が必要な人へ成年後見制度の利用相談と申立支援を行い、制度利用につなげた。また、地域の権利擁護を担う人材育成を目的とした「市民後見人養成講座」を実施し、市民後見人受任経験者とともに成年後見制度の普及啓発を行った。

障がい者基幹相談支援センターでは、福祉事業者、行政等と連携しながら、障がい者のための相談支援体制の構築に向けた取り組みとして「地域自立支援協議会」の運営を行った。また、施設従事者向け研修会や事業所連絡会を通じた市内福祉事業者同士の相互交流や人材育成を図った。

3 主要な施策の成果

(1) 相談窓口 4, 717件（新規相談490件）

（生活相談 3,030、後見ネットワーク 261、障がい者基幹相談支援 1,314、その他 112）
(件)

来所	電話	メール	訪問	同行	会議	その他	合計
1,902	2,092	115	254	40	103	211	4,717

(2) 生活相談センター

① 自立支援プラン 7人、策定件数 7件（新規・再プラン含）

② 住居確保給付金事業 4人 相談件数延べ19件

③ 就労支援事業 82人 支援件数延べ201件

④ 就労準備支援事業

ア. 利用者 8人 相談件数延べ154件

イ. 就労体験先 3か所 就労体験日数延べ34日

- ウ. 前期講座 5日 参加人数延べ24人
- エ. 後期講座 5日 参加人数延べ22人
- ⑤ 家計相談支援事業 延べ52人
- ⑥ フードバンク事業
 - ア. 食品受領 6, 272.72kg
 - イ. 食品提供(フードバンク、フードパントリー) 503世帯 延べ716回
 - ウ. 食支援連携会議 6回参加、食支援事業説明 2回
- ⑦ その他(地域ケア会議、担当者会議、学習支援会議) 16回

(3) 後見ネットワークセンター

- ① 企画運営会議 6回、利用促進調整会議 6回
- ② 成年後見制度の普及啓発
 - ア. 専門職研修 1回 23人参加
 - イ. 親族後見人向け交流会 4人参加
 - ウ. 出前講座 6回(町内会4か所、サロン2か所)
 - エ. センター便りの発行 年3回
- ③ 市民後見人の活動支援
 - ア. 市民後見人養成講座 5日間 14人受講
 - イ. フォローアップ研修 3回 延べ38人参加
 - ウ. 市民後見人の集い 3回 14人参加
 - エ. 市民後見人活動支援 4人 73回
- ④ その他(担当者会議、地域ケア会議) 4回

(4) 障がい者基幹相談支援センター

- ① 地域の相談支援体制の強化
 - ア. 一次相談機関への専門職研修 2回
 - イ. 障がい者等相談支援事業所への巡回訪問 8事業所 9回
 - ウ. 相談支援事業者に対する人材の育成、スキル向上 14回
 - エ. 関係機関・福祉事業者との連携強化 随時
- ② 地域移行・地域定着支援の取組 会議3回 対象24人(移行8人、定着16人)
- ③ 障がい者虐待防止と障がい理解促進
 - ア. 障がい者虐待防止研修 1回
 - イ. 障がい者虐待の通報及び届け出受理 3件
 - ウ. 障がい理解促進と障がい者差別禁止啓発 2回
 - エ. 障がい差別の相談及び届け出受理 0件
- ④ 自立支援協議会の運営 10回(全体会、ビジョン部会、暮らし部会)
 - プロジェクト会議 28回(教育と福祉の連携、医療的ケア児支援、志木まると地域支援、グループホーム連絡会、通所施設連絡会)
- ⑤ その他(担当者会議、地域ケア会議等) 52回

5 居宅介護支援事業

(長寿えがお課)

1 事業の概要

介護保険法及び障害者総合支援法における指定居宅介護支援事業所・指定特定相談支援事業所として、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で暮らしていくために要介護・要支援・事業対象者認定を受けた人や障がい者のケアプランを作成し、あわせて、介護者である家族の相談、情報提供、見守り等の支援を行った。

また、地域に密着したサービス提供ができるよう、関係各所との情報収集・情報交換を積極的に行い、連携強化を図りながら要介護者・障がい者の在宅生活を支援した。

2 重点事業及び新規事業（重点事業：**重**、新規事業：**新**）

重 多問題ケースへの対応

増加傾向にある生活困窮世帯や認知症利用者、看取り等の多問題ケースに対し、基幹福祉相談センターや成年後見人、近隣の医療機関などの関係機関との連携を強化した。

また、近年の災害に対しては、柏町において個別避難計画を作成し、利用者及び家族に防災の意識づけを図ることができた。

新 高齢者虐待防止委員会・感染対策委員会の開催

介護報酬改定に伴い令和6年度から義務化となる「高齢者虐待防止委員会・感染対策委員会」を令和5年度に先立って開催し、虐待の防止及び感染対策の現状確認、今後の対策についての方向性を共有した。

3 主要な施策の成果

(1) 居宅介護支援

① 職員体制（令和6年3月末）

介護支援専門員	人数
常勤職員	6人
短時間勤務職員	1人

② ケアプラン数

種別	延べ作成件数
介護計画	1,967件
介護予防計画	381件

③ サービス担当者会議 281回

主な会議内容	回数(回)
認定更新結果後のサービス	77
現在のサービス見直し	102
初回サービス担当者会議（新規利用者）	76
退院後の在宅復帰	15
区分変更後のサービス調整	11

④ 介護予防サービス担当者会議 34回

主な会議内容	回数 (回)
認定更新結果後のサービス	17
初回サービス担当者会議 (新規)	8
現在のサービス見直し (変更・追加)	9

⑤ 相談件数 114件 (うちケアプラン作成件数90件)

(2) 計画相談支援

① 契約件数 131件 (件)

新規契約	契約終了	延べ契約
1	15	131

② 障がい別契約件数 143件 (件)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	重複障がい
26	69	36	12

(3) 認定調査 62件 (志木市57件、他市5件)

(4) 会議・研修

① 居宅介護支援

- ア. 外部研修 (更新研修、認定調査研修等) 40件 延べ57人参加
- イ. 地域ケアエリア会議 3回 延べ 3人参加
- ウ. 自立支援型地域ケア会議 2回 2人参加
- エ. 居宅介護支援事業所会議 12回 延べ96人出席
- オ. 居宅介護支援事業所事勉強会 (志木ケアマネスクエア) 7回 延べ16人参加
- カ. 事例検討会 2回 延べ 8人参加
- キ. 内部研修 2回 延べ 9人参加
- ク. 包括ケアマネ支援勉強会 7回 延べ12人参加

② 計画相談支援

- ア. 会議・研修 8件 9人参加
- イ. 自立支援協議会 1回
- ウ. 連絡調整会議 12回

6 訪問介護事業

(長寿えがお課)

1 事業の概要

指定訪問介護事業所、指定居宅サービス事業所及び志木市委託事業所として、さまざまな制度に基づくサービスの提供を行い、利用者の心身の状況を踏まえて、住み慣れた地域で安心して在宅生活を送ることができるよう自立へ向けた支援を行った。

2 重点事業及び新規事業（重点事業：**重**、新規事業：**新**）

重 個別研修、介護技術会議の開催

特定事業所加算の要件である個別研修及び介護技術会議を11月から開始した。

個別研修では個々のヘルパーが個人目標を立て、目標達成に向けた動画研修を視聴し、知識の向上を図った。また、全体会議では登録ヘルパー全28人を対象に実践的な介護技術の確認を行い、介護力の強化を図った。

新 業務継続計画の策定

介護報酬改定に伴い令和6年度から義務化となる「業務継続計画」を策定し、感染症や自然災害の発生時においても事業所が継続的に運営できるよう体制づくりを行った。

3 主要な施策の成果

(1) 訪問介護

① 職員体制（令和6年3月末）

職員種別	人数（人）
サービス提供責任者（常勤）	4
サービス提供責任者（短時間）	2
事務職（短時間）	1
登録ヘルパー	28

② 活動時間、利用者数

区分	活動時間（時間）	訪問回数（回）	延べ利用者数（人）
訪問介護	8,927	9,550	1,102
第1号訪問事業	2,996	3,703	711
居宅サービス事業	4,138	4,216	455
移動支援事業	783	1,005	143
育児サポート事業	44	44	15
自費契約	12	7	2
合計	16,900	18,525	2,428

(2) 研修・会議

- ① 登録ヘルパー全体研修 8回 延べ259人出席
- ② 登録ヘルパー全体会議 11回 延べ391人出席
- ③ 外部研修（WEB研修） 9回 延べ17人参加

- ④ サービス提供責任者会議 12回 延べ85人出席
- ⑤ 地域ケアエリア会議 5回 延べ6人出席
- ⑥ 介護保険集団指導 1回
- ⑦ 障がいサービス集団指導 1回

(3) サービス担当者会議 186回

主な会議内容	回数 (回)
① 身体及び生活環境の変化による業務の見直しと今後の対応について	21
② 要介護認定更新に伴うサービス内容の確認について	81
③ 生活状況及びサービス内容の確認について	24
④ 退院後の在宅復帰に向けて	4
⑤ 新規訪問でのサービス提供内容について	49
⑥ その他(ケアマネジャー交代等)	7

7 地域包括支援センター

(長寿えがお課)

1 事業の概要

市からの委託により、柏町及び館・幸町地区の高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう相談を受け、高齢者を見守り、心身の状態に併せた支援を行った。また「地域包括ケア」の中核機関として、必要な総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメントなどを実施した。

2 重点事業（重点事業：**重**）

重 「孤独死を防ぐ」「認知症にやさしい柏町」の推進（柏の杜）

「孤独死を防ぐ」「認知症にやさしい柏町」を目標として、総合相談の強化、関係機関とのネットワーク構築、認知症施策に取り組んだ。

また、ケアラーを支援する地域団体、高齢者あんしん相談センター館・幸町と共催し、ケアラー向け講座を開催した。また、志木市第二福祉センターと共催し、介護予防まつりを開催することで地域の高齢者へ介護予防に対する意識づけを図った。

生活支援体制整備事業では、買い物代行やエアコン掃除などの生活支援を第2層協議体メンバーで行う「支えあい隊（仮称）」の仕組みを構築し、普及啓発として柏町をお互いさまで助け合える地域にするには何ができるかをテーマに柏町フォーラムを開催した。

重 コロナ禍後の実態調査及び関係機関との連携、協働（館・幸町）

新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、再開したサロン、サークル及び老人会や高齢者世帯実態調査の2次調査の対象高齢者及び生活課題や介護リスクの高い高齢者を訪問し実態調査を行った。介護リスクの高い高齢者については、「からだづくり教室」や「フレイル予防事業」の案内、介護保険の情報提供を行った。

関係機関との連携、協働については、民生委員・児童委員協議会の定例会や生活支援体制整備事業における2層協議体で企画したフォーラムを通じて、各団体の活動内容や地域課題の共有を図った。また、町内会の防災訓練、ニュータウンの防災事業に参加し、防災設備や助け合いの仕組みについての情報収集やネットワークづくりに努めた。

3 主要な施策の成果（志木市高齢者あんしん相談センター柏の杜）

(1) 総合相談支援業務

① 総合相談受付件数 4, 232件（実人数484人） (件)

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合計
2, 526	413	1, 284	9	4, 232

② 実態把握業務

業務内容	主な内容	件数 (件)
高齢者世帯実態把握二次調査	郵送調査による包括の訪問希望者	31

③ 地域におけるネットワークの構築

分類	主な内容	回数 (件)
会議・打合せ	民生委員会議、施設会議などへの参加・打合せ	24
活動支援	サロン活動、ボランティア団体会議への参加など	27
出前講座	介護予防・地域包括支援センターについてなど	33
出張相談	なんでも相談会	2
ケアラー支援	ケアラー支援向け講座	1

(2) 権利擁護業務

① 相談

相談内容	件数 (件)	実人数 (人)
権利擁護・成年後見人制度関連	7	6
虐待関連	10	4

② 啓発講座

講座内容	回数 (回)	参加者 (人)
交通安全、消費生活アドバイス	5	105

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント

分類	主な内容	回数・件数
相談支援	介護支援専門員・サービス事業者への相談支援	641件
会議・研修	介護支援専門員を支援するための会議・研修	8回
地域ケア会議	エリア会議開催、自立支援型地域ケア会議参加	14回
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携会議などへの参加	5回
生活支援体制整備	2層協議体・打合せ・会議・サロン支援など	64回
一般介護予防事業	訪問型・通所型サービス等の調整	64件

(4) 介護予防支援事業所

主な内容		回数・件数
給付管理	介護予防支援 延べ1,077件 介護予防ケアマネジメント 延べ252件	延べ1,329件
介護予防サービス計画サービス担当者会議の開催		133回
要介護認定申請書などの申請を代行		191件

(5) 市受託事業

① 元気づくり事業

事業名	主な内容	回数 (回)	参加者 (人)
自立支援教室	体操&太極拳	23	421
	自宅で取り組む毎日チャレンジ	12	439

② 認知症施策推進事業

事業名	主な内容	回数 (回)	参加者 (人)
認知症カフェ	1 か所の茶話会・和光病院院長講話	1 1	2 1 6
認知症SOS声かけ模擬訓練	市内包括合同SOS声かけ訓練	1	2 6

(6) 会議・研修

- ① 職員外部研修 2 5 件 延べ3 4 人参加
 ② その他関係会議 6 4 回

4 主要な施策の成果（志木市高齢者あんしん相談センター一館・幸町）

(1) 総合相談支援業務

- ① 総合相談受付件数 5, 8 2 5 件（実人数 5 1 9 人） (件)

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合計
3, 7 7 7	3 7 2	1, 4 1 5	2 6 1	5, 8 2 5

② 実態把握業務

業務内容	主な内容	件数 (件)
高齢者世帯実態把握二次調査	民生委員調査後の二次調査	3 8

③ 地域におけるネットワークの構築

分類	主な内容	回数 (回)
会議・打合せ	民生委員会議、施設会議などへの参加・打合せ	6
活動支援	老人会、サロン、ボランティア活動支援・協力	8 0
出前講座	サロン、町内会の講座など	1 9
出張相談	館出張相談所、なんでも相談会	2 1

(2) 権利擁護業務

① 相談

相談内容	件数 (件)	実人数 (人)
権利擁護・成年後見人制度関連	2 3	1 2
虐待関連	1 0	6
認知症関連	3 8	2 2

② 啓発

講座内容	回数 (回)	参加者 (人)
交通安全、消費生活アドバイス講座	4 0	6 1 6

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント

分類	主な内容	回数・件数
相談支援	介護支援専門員・サービス事業者への相談支援	1, 3 6 2 件
会議・研修	介護支援専門員を支援するための会議・研修	1 5 回
地域ケア会議	地域ケアエリア会議開催	1 0 回

	自立支援型地域ケア会議参加	10回
認知症総合支援	認知症地域支援推進員会議	9回
	認知症初期集中支援チーム	5回
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携会議への参加、受診支援	33回
生活支援体制整備	打合せ・会議・サロン支援、フォーラムなど	12回
多世代交流	保育園とサロンとの交流、保育園の見学・交流	3回
一般介護予防事業	百歳体操立ち上げ・活動支援、体操会	40回

(4) 介護予防支援事業所

主な内容		回数・件数
給付管理	介護予防支援 延べ1,300件	延べ1,844件
	介護予防ケアマネジメント 延べ544件	
介護予防サービス計画サービス担当者会議の開催		160回
要介護認定申請書などの申請を代行		257件

(5) 市受託事業

① 元気づくり事業

内容	主な内容	回数(回)	参加者(人)
自立支援教室	青空体操・ウォーキング・脳活性化ゲーム	16	149

② 認知症施策推進事業

事業名	主な内容	回数(回)	参加者(人)
認知症カフェ	1か所の茶話会・講演会	6	103
サポーター養成講座	小学校や地域団体へ認知症の理解講座	1	91
声かけ模擬訓練	フォローアップ講座、声かけ模擬訓練	1	21

(6) 会議・研修

- ① 職員外部研修 28回 延べ38人参加
- ② その他関係会議 54回

8 志木市総合福祉センター

(ふれあい交流課)

1 事業の概要

住み良い地域社会の形成と福祉の増進を図るため、誰もが安心して利用できる地域福祉拠点施設の管理運営を行うとともに、複合施設の利点を活かし、関係機関や団体と連携した事業を実施した。(指定管理者)

2 重点事業(重点事業: **重**)

重 LEDへの更新

高騰する電気料に対応するため市と調整を図り、各階のロビーや廊下などの蛍光灯をLEDに更新した。

重 施設利用の促進

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されて以降、様々な利用制限の緩和を図り、令和4年度と比較して利用回数が266件増の2,268件、利用人数が12,388人増の43,275人と大幅な増加となった。また、総合福祉センターまつりでは、飲食・販売を再開し、多くの来場者による体験などを通じて、「親睦と交流」を図ることができた。

3 主要な施策の成果

(1) 施設利用状況

開館日数354日

施設名	利用回数(回)	利用人数(人)
ホール	631	25,324
201会議室	598	6,760
202会議室	611	6,703
203会議室	428	4,488
合計	2,268	43,275

<臨時休館>

休館日	休館理由
9月10日	停電を伴う電気点検
6月18日、10月15日、2月4日	館内定期清掃
7月24日、7月25日	スプリンクラー作動に伴う水損事故

(2) 事業実施状況

事業名	共催者等	実施日	参加人数
総合福祉センターまつり	総合福祉センターまつり実行委員会、社協共催	3月2日 ～3月3日	2,244人
普通救命講習会	宗岡第二公民館共催	10月31日	24人
サマーコンサート	宗岡第二公民館、児童センター、宗岡子	7月21日	147人

	育て支援センター、福祉センター共催		
映画会（児童向け）	宗岡第二公民館、児童センター、宗岡子育て支援センター共催	3月26日	14人
多世代交流事業	福祉センター共催、児童センター、宗岡子育て支援センター事業同時開催、カレットサークル「さくら」協力	11月26日	47人

(3) 防火管理・安全対策・職員研修

火災、地震、水害、事件・事故などの危機に明確かつ迅速に対応できるよう、危機管理マニュアルを更新し、職員及び関係者へ周知して、火災を想定した消防訓練を消防署立ち合いのもと実施した。また、スプリンクラー作動に伴う水損事故を受け、消防計画等を見直し、館内事業に改めて周知をした。その他、接遇などの研修に参加した。

① 消防訓練 年2回実施（9月25日、2月16日）

② 職員研修 4件 延べ18人参加

(4) 印刷機貸出及びコピーサービス

地域福祉を推進する団体などに、コピーサービス及び大判コピー機、印刷機の貸出を実施した。

コピー	モノクロ	5,998枚	
	カラー	700枚	
大判コピー	26件	52枚	
印刷機	105件	51,843枚	

(5) 利用者アンケート

利用者カードによりアンケートを実施し、利用者の声を尊重した施設運営を進め、意見・要望を参考に快適な施設提供を行った。（集計数847件）

9 宗岡第二公民館

(ふれあい交流課)

1 事業の概要

住民への教養の向上をはじめ、健康を増進し、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、利用者の誰もが安心して利用できるように施設の運営を行うとともに、関係機関や団体と連携して各種事業を実施した。(指定管理者)

2 重点事業及び新規事業(重点事業: **重**、新規事業: **新**)

重 サークルの立ち上げ・育成

若年層の利用促進を勘案して夜間にヨガ体験講座を開催した。また、感染症の流行で極端に減ってしまった料理の学び場を増やすため「麺'sクラブ」を土日に開催した。麺'sクラブは団体を立ち上げ、学んだことを地域に還元することを目的に育成を行い、総合福祉センターまつりでは模擬店を出店した。

新 図書室利用の促進

図書室においては毎週木曜日の午前中に「赤ちゃんタイム」を設定し、プレイマットや布絵本、BGMを用意し、親子連れ目線で過ごしやすい環境を整え、よみきかせ等を実施した。また、未就学児の利用促進として、志木市立図書館の利用カードの登録者にオリジナルカレンダーをプレゼントして登録促進を図った。その他、読書ビンゴや本のお楽しみ福袋など子どもが楽しめる新規事業を実施した結果、昨年度と比較し、12歳以下の新規登録者数が61人から129人へ、利用者数が2,148人から2,713人へ、児童書の貸出冊数が17,975冊から24,290冊へ大幅に増やすことができた。

3 主要な施策の成果

(1) 施設利用状況

開館日数354日 全10室 3,603回 43,329人利用

施設名	利用回数 (回)	利用人数(人)	施設名	利用回数 (回)	利用人数(人)
401会議室	525	7,396	406会議室	311	3,616
402会議室	337	7,313	和室	246	1,416
403会議室	246	2,262	調理室	197	2,135
404会議室	341	2,746	トレーニング室	712	8,529
405会議室	425	5,927	美術工芸室	263	1,989
			合計	3,603	43,329

< 臨時休館 >

休館日	休館理由
9月10日	停電を伴う電気点検
6月18日、10月15日、2月4日	館内定期清掃
7月24日、7月25日	スプリンクラー作動に伴う水損事故

(2) 事業実施状況

① 自主事業 28事業 157回 参加者4,934人

分類(事業数)	事業名	回数(回)	参加者(人)
高齢者事業(1事業)	寿大学	20	735
ICT学習支援事業(1事業)	スマホ講座	2	27
一般成人事業(6事業)	ヨガ体験教室、麵'sクラブ等	14	277
家庭教育・子育て支援事業(6事業)	夏休み宿題お助け教室、「ゆめパのじかん」上映会、書初め練習会等	18	339
青少年事業(2事業)	中学生の勉強会、自習スペース開放事業	47	462
図書室関連事業(5事業)	読書ビンゴ、未就学児図書室利用促進事業、本のお楽しみ福袋等	27	484
地域福祉事業(3事業)	パステルアート教室、みんなの木あそび、写真教室	24	169
地域連携事業(1事業)	子ども会連携事業	2	30
館内共催事業(3事業)	総合福祉センターまつり等	3	2,411

(休止した事業：学校連携事業(1事業))

② 陶芸用電気炉利用状況

延べ6回(素焼き2回、本焼き4回) ※令和5年7月24日から休止

③ 図書室運営 開館日数335日

ア. 利用者数

(人)

児童	青少年	一般	団体等	合計
2,713	306	8,594	183	11,796

イ. 貸出資料数・リクエスト受付数

	児童書	一般書	雑誌	AV資料	合計
貸出資料数(点)	24,290	12,289	2,206	3,917	42,702
リクエスト受付数(件)	845	3,371	626	403	5,245

④ ボランティア協力

小学生対象の書初め練習会は、初めて高校の書道部にボランティアで講師をお願いし、高校生が準備や片付けを含め、積極的かつ継続的に協力してもらえるよう学校や生徒と良好な関係を築き、開催した。

(3) 防火管理・災害対策・職員研修

総合福祉センター危機管理マニュアルに基づき、総合福祉センター内の各施設と連携し、消防訓練を2回実施した。また、利用者サービスの充実に必要な研修として、接遇研修、ハラスメント防止研修、クレーム対応研修、普通救命講習会、災害ボランティア合同研修会、南部地区人権教育実践報告会に延べ19人参加した。

(4) 利用者アンケート

利用者カードによりアンケートを実施し、利用者の声を尊重した施設運営を進め、意見・要望を参考に快適な施設提供を行った。(集計数2,233件)

10 志木市福祉センター

11 志木市第二福祉センター

(ふれあい交流課)

1 事業の概要

高齢者が健康で明るい生活を送ることができるよう、高齢者福祉推進の拠点として、介護予防推進事業やレクリエーションの実施など、各種事業を展開するとともに、高齢者の憩いの場所として、快適に過ごせる施設運営を行った。(指定管理者)

2 重点事業及び新規事業(重点事業：**重**、新規事業：**新**)

重 介護予防事業の充実

自分に合った介護予防事業や体操を選びやすくするため、パンフレットや掲示物などのPR方法を見直した。福祉センターでは動画による事業紹介を行った。また、カラオケをはじめとするサークルの団体利用を積極的に支援し、団体数及び部屋の貸出数が増加したことなどにより、福祉センターでは5,778人増の22,474人、第二福祉センターでは2,080人増の25,576人の利用があった。

重 浴室管理衛生の徹底

第二福祉センターにおいて、レジオネラ属菌が検出されたことを受け、浴室内の清掃、高圧洗浄及び薬品消毒、浴槽配管薬品洗浄及び塩素注入口分解洗浄を行ったほか、「浴室の清掃・消毒マニュアル」を新たに作成し、職員及び清掃員で共有した。

新 スマホちょこっと相談の実施

スマホ操作などが身近に相談できる場として「スマホちょこっと相談」を福祉センターと第二福祉センターに設置し、高齢者が継続して相談できる体制を整えた。

3 主要な施策の成果(志木市福祉センター)

(1) 利用状況

開館日数 354日 (人)

市内利用者	市外利用者	合計
22,382	92	22,474

<臨時休館>

休館日	休館理由
9月10日	停電を伴う電気点検
6月18日、10月15日、2月4日	館内定期清掃
7月24日、7月25日	スプリンクラー作動に伴う水損事故

(2) 教室事業

教室名	回数(回)	参加者数(人)
健康レクリエーション	20	240
健康体操	19	211

3 B 体操	1 0	1 5 0
太極拳	2 0	2 1 7
フォークダンス	1 0	1 5 5
脳活性化ゲーム	1 0	1 6 6
大人のぬり絵	1 0	1 7 7
大人のぬり絵 (自習)	1 0	1 4 3
書道	1 0	2 7 2
民謡	1 0	1 7 9
1 0 教室 (自習を含む)	1 2 9	1, 9 1 0

(3) 介護予防事業

事業名	回数(回)	参加者数 (人)
朝の5分間体操	3 5 4	カウントなし
楽々筋トレ塾	3 4 7	1, 6 2 2
楽々筋トレ塾初回講習	2 2	4 1
エンジョイ筋トレ	1 2	1 8 4
ころばん塾	3 2 0	2, 3 9 3
カッピー体操	4 5	7 6 2
スマイル体操	9 5	1, 5 1 8
椅子ヨガ	4 6	6 2 3
歌声サロン	4 6	7 8 7
健康講座	6	1 0 8
輪投げ・マグダーツ練習会	5 4	4 3 3
麻雀	3 4 2	3, 6 8 0
囲碁	3 0	6 6
健康麻雀初心者講座	2 0	2 1 4
1 4 事業	1, 7 3 9	1 2, 4 3 1

(4) イベント事業

総合福祉センターとの共催による多世代交流事業として、輪投げ・カーレット体験を実施し、高齢者とこども（親を含む）の交流を図った。

また、総合福祉センターまつりの一環として実施した高齢者作品展示会は、展示期間を3月4日から3月20日までの17日間延長し、福祉センター2階ロビーにて実施した。

(5) スマホちょこっと相談

相談件数 25件 (件)

	基本設定	電話	メール	LINE・アプリ	その他	合計
相談件数	6	3	4	7	5	25

(6) 志木市老人クラブ連合会事務局活動

志木市老人クラブ連合会事務局及び各単位老人クラブに関する業務を行い、日常活動

や事業の連絡調整、準備、決算、記録、会計研修などの諸活動の支援を行った。

事業は、友愛訪問活動をはじめ、輪投げ大会、マグダーツ大会、日帰り旅行、市民文化祭芸能発表及び高齢者作品展示会などについて、事業計画どおりにすべて実施した。

(7) 防火管理

総合福祉センター危機管理マニュアルに基づき、総合福祉センター内の各施設と連携し、館内のすべての機関が参加する消防訓練に年2回参加した。

(8) 研修

内部研修 1件 1人参加

(9) 利用者アンケート

令和6年3月5日～28日（24日間） 127枚

4 主要な施策の成果（志木市第二福祉センター）

(1) 利用状況

開館日数 356日 (人)

市内利用者	市外利用者	合計
25,464	112	25,576

<臨時休館>

休館日	休館理由
2月11日	受水槽保守点検及び清掃
6月11日、12月10日	館内定期清掃
3月24日	給水ポンプ更新工事

(2) 浴室利用（予約制）

利用日数 277日 (人)

男性	女性	合計
5,563	6,770	12,333

※2月9日～3月3日（24日間） レジオネラ属菌検出のため休止

(3) 教室事業

教室名	回数(回)	参加者数(人)
大人のぬり絵教室	10	116
健康体操教室	10	128
3B体操教室	10	221
シニアダンス教室	9	121
書道教室	10	142
太極拳教室	10	181
脳活性化ゲーム教室	10	152
珠算教室	10	65
リズム体操教室	10	161
9教室	89	1,287

(4) 介護予防事業

事業名	回数(回)	参加者数(人)
朝の5分間体操	293	カウントなし
楽々筋トレ塾	356	2,395
楽々筋トレ塾初回講習	21	39
エンジョイ筋トレ	12	63
ころばん塾	139	1,780
カッピー体操	36	421
歌声ひろば	11	300
介護予防まつり 柏の杜との共催	1	74
健康セミナー リフレッシュ体操	4	112
9事業	873	5,184

(5) イベント事業

事業名	回数(回)	参加者数(人)
サークル発表会	1	124
チェロ演奏会	2	76
防犯対策講座	1	14
あどはだり みんなで弾打歌	1	32
4事業	5	246

(6) スマホちょこっと相談

相談件数 41件 (件)

	基本設定	電話	メール	LINE・アプリ	その他	合計
相談件数	9	12	4	8	8	41

(7) 隣接住宅の見守り安全確認

隣接する市営城山住宅に居住するひとり暮らしの高齢者に対し、定期的な安否確認を実施した。

(8) 防火管理

安心して施設を利用していただくため、消防訓練を年2回実施した。また、避難所開設・運営の打合せに参加し、指定避難所の運営を円滑に行うための確認を行った。

(9) 研修

外部研修 2件 1人参加 内部研修 1件 1人参加

(10) 利用者アンケート

令和6年3月5日～28日(23日間) 67枚

12 障がい者通所施設（生活介護）

13 障がい者通所施設（就労継続支援B型）

（ふれあい交流課）

1 事業の概要

障害者総合支援制度に基づき、利用者の自立した日常生活又は社会生活や継続的な就労活動ができるよう、利用者の意向、適性、障がいの特性等を踏まえた個別支援計画を作成し、利用者に対して適切かつ効果的な障がい福祉サービスを実施した。

2 重点事業及び新規事業（重点事業：**重**、新規事業：**新**）

重 送迎サービスの拡充（生活介護）

福祉車両（車椅子専用車）を新たに1台導入し、車いす利用者が送迎するための負担を軽減した。

重 地域のボランティアとの協同（生活介護）

さをり織り作業は、市民ボランティアの定期的な協力を呼びかけ、17人中10人の利用者が参加できる体制を整備した。また、毎月実施の市役所販売などの施設内外の販売活動や缶回収を通して、地域の方々との交流を図ることができた

重 工賃の増額（就労継続支援B型）

クローバーでは、灰の作業や雑誌等の付録分別作業、缶バッチ製造、油処理袋の縫製作業、公園や施設トイレ清掃を行った。新たに、輸入資材の梱包作業を請け負い、利用者の訓練機会の拡大と収入アップを図った。

食堂を運営するひまわりでは、度重なる原価高騰に対応しながら、工賃の確保を維持するため、メニューや価格の見直しによる対策を講じた。新型コロナウイルスの類型変更後は徐々に来客も増え、1日当たり3万円（平均売上は25,000円弱）を超える売り上げを出す日もあった。

東館では、販路先の拡大や新商品の販売、原価を抑える取り組みを実施し、売り上げの向上、利用者の作業能力の向上につなげることができた。

クローバー、ひまわり、東館の3事業所の就労支援事業収入が昨年度に比べ約207万円増額することができ、利用者一人ひとりの平均工賃月額も昨年度より2,405円増の20,218円とすることができた。

新 新しい活動、作業の導入（生活介護）

より多くの利用者が参加できることを目的に、新たにパズルやボッチャ、手ぬぐい作成を実施し、手先や利用者の感性を生かす作業を増やした。

3 主要な施策の成果（生活介護）

(1) 新規契約者数

- ① 新規契約 3人（40代女性、50代女性、40代男性）
- ② 契約終了 2人（50代女性、40代女性）

(2) 利用登録者数（3月31日現在） 平均利用者数 17.1人／日

	利用登録者数	延べ利用者数
つくしんぼ	23人	4,145人

(3) 平均工賃（一人あたり）

	年額(円)	活動内容
つくしんぼ	2,269	自主製品販売、アルミ缶回収

(4) つくしんぼの活動

- ① 販売活動 8回
- ② 健診と余暇活動など

	活動内容	回数(回)
健診	内科検診	12
	歯科検診	2
余暇活動など	大正琴	21
	音楽療法	6
	市内他団体との交流会	1
	外出行事	2
	スポーツ・レクリエーション	47
	絵画教室	11
	リハビリ体操	49
クリスマス会	1	

(5) 関連業務

① 実習体験生の受け入れ

所属など	人数	日数
通所希望者	2人	4日
所沢おおぞら特別支援学校	4人	18日

② 避難訓練

避難確保計画に基づく避難訓練（9月19日実施）1回 17人参加 職員7人参加
 総合福祉センター避難訓練 2回 延べ利用者4人、職員2人参加

③ 会議・研修等

分類	つくしんぼ		管理（所長、サビ管）	
外部研修	7件	9人	7件	8人

内部研修	7件	27人	7件	13人
職員会議	12回		12回	

4 主要な施策の成果（就労継続支援B型）

(1) 新規契約・契約終了者数

- ① 新規契約 4人（10代男性2人、30代女性1人、50代男性1人）
 ② 契約終了 5人（50代女性・60代女性→デイケアへ、20代男性→他市グループホームへ、40代女性→通所中止、10代男性→就労移行へ）

(2) 利用登録者数（3月31日現在） 平均利用者数 27.7人/日

	利用登録者数	延べ利用者数	平均利用者数
クローバー	19人	4,094人	16.8人
ひまわり	8人	1,007人	4.2人
東館	9人	1,639人	6.7人

(3) 平均工賃（一人あたり）

	月額(円)	活動内容
クローバー	19,569	清掃及び除草、御香炉灰、缶バッチ製造など
ひまわり	27,618	食堂運営
東館	16,351	焼き菓子製造、学童おやつ提供
平均工賃	20,218	

(4) クローバーの活動

① 就労支援活動

就労場所	活動内容	延べ活動者数	売り上げ(円)
市役所・市内公園	清掃及び除草	501人	335,984
施設内作業	内職（御香炉灰など）	4,132人	3,812,955
	缶バッチ製造	8人	311,022

② 余暇活動 2回（外出行事、クリスマス会）

(5) ひまわり・東館の活動

主な活動内容	活動日数	延べ来客数・提供数	売り上げ(円)
食堂運営	238日	9,906人	5,968,530
学童おやつ提供	144日	20,702人	2,368,670
クッキー等焼き菓子製造	261日	—	2,575,228

(6) 関連業務

① 実習体験生の受け入れ

所属など	クローバー		ひまわり		東館	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
通所希望者	2人	4日	1人	3日	1人	2日
所沢おおぞら特別支援学校	4人	17日	—	—	4人	17日

② 避難訓練

避難確保計画に基づく避難訓練(9月19日実施)

回数	クローバー	ひまわり	東館	就労B職員
1回	14人	3人	6人	9人

総合福祉センター避難訓練

回数	クローバー	ひまわり	東館	就労B職員
2回	27人	3人	9人	17人

③ 会議・研修等

分類	クローバー		ひまわり		東館	
外部研修	5件	6人	1件	1人	3件	3人
内部研修	6件	32人	6件	11人	6件	30人
職員会議	12回	—	12回	—	12回	—

14 地域活動支援センター

(ふれあい交流課)

1 事業の概要

障がい者等の意思及び人格を尊重し、地域において自立した生活を営むことができるよう、障がい者等の声をもとにした創造的活動及び生産活動の機会の提供並びに社会との交流を図る事業を実施した。

2 重点事業（重点事業：**重**）

重 利用者拡大に向けた取り組み

新たな利用者を開拓するため、年間を通じて友人などを介した声掛け活動を行ったほか、総合福祉センターまつりでは、利用者の製作品や活動風景の写真を展示し、新たに7人の利用者が新規利用者となった。

また、機能回復訓練事業では、専門職の体制を整備したことにより、参加率が4%増の88%と充実した事業展開を図ることができた。

3 主要な施策の成果

(1) 地域活動支援センターの管理運営

① 障がい者団体及びボランティア団体への活動場所の提供

団体利用 7団体136回 延べ1,496人

② 職員研修 3回 延べ6人

(2) 自主事業及び受託事業の実施

① 教室事業（創作活動）

教室名	回数	参加者
生花教室	11回	74人
陶芸教室	12回	73人
料理教室	11回	134人
体操教室	12回	60人
みんなの木あそび	17回	99人
パステルアート教室	12回	56人
写真教室	2回	10人
7教室	77回	506人

② サークル活動

サークル名	回数	参加者数
ペンギンクラブ	20回	111人
PCC六星	15回	54人
ぴあの	22回	72人
ハンドメイド	21回	121人
4サークル	78回	358人

③ 親と子の生活訓練（介護の指導方法）

8回 延べ41人

④ 青年学級（社会適応訓練）

6回 延べ152人

実施日	主な内容	参加者数
5月20日(土)	ボウリング大会	24人
7月9日(日)	さいたま宇宙劇場・プラネタリウム	26人
9月30日(土)	所沢航空発祥記念館見学	25人
11月19日(日)	国営武蔵丘陵森林公園散策	24人
1月27日(土)	角川武蔵野ミュージアム見学	24人
3月10日(日)	グリコピア・イースト工場見学	29人
6回		152人

⑤ 機能回復訓練事業

実施日	実施回数	参加者数
月曜日	48回	259人
金曜日	48回	208人
週2回	96回	467人

⑥ 送迎サービス（片道を1回とする） 116回 延べ208人

教室名	回数	利用者数
生花教室	22回	46人
陶芸教室	22回	22人
料理教室	22回	42人
体操教室	38回	86人
みんなの木あそび	12回	12人
5教室	116回	208人

15 志木市児童センター

16 宗岡子育て支援センター

(こども未来課)

1 事業の概要

志木市児童センターにおいては、児童に健全な遊びを提供してその健康を増進し、情操を豊かにする児童福祉法の規定に基づく目的を達成するための事業を展開した。

宗岡子育て支援センターにおいては、子育て家庭の保護者、乳幼児等に対する支援を行うため、子育て親子の交流の場の提供と交流促進を中心とした事業を展開した。(指定管理者)

2 重点事業(重点事業: **重**)

重 課内事業所や小中学校との連携強化(志木市児童センター)

宗岡子育て支援センターとの連携により、子育て中の保護者の興味・関心が高い「キッズマネーセミナー」を開催し、親子が楽しみながらお金について学ぶ機会を提供した。また、こども未来課で協働した「こどもマルシェ」では、地域住民の協力のもとワークショップを行うなど、児童の健全育成の場と機会を提供した。さらに学校の夏季休業に合わせて号外通信を発行し、市内小中学校全児童に向け配布を行った。

重 孤立防止のための事業展開(宗岡子育て支援センター)

地域の育児情報や交流の場を提供する事業を対面とオンラインで同時に開催し、孤立した育児にならないよう支援を行った。また、0歳児と保護者、未就学児と父親、妊婦など、子育ての環境が類似する親子を対象に「対象別広場」を開催し、子育ての悩みを共有することで育児負担の軽減を図った。

3 主要な施策の成果(志木市児童センター)

(1) 利用状況

開館日数 354日

(人)

個人利用者	団体利用者	その他利用者	事業参加者	合計
22,812	252	239	15,500	38,803
23,303				

(2) 事業実施状況

① 未就学児・保護者対象事業

主な内容	事業数	参加者(人)
なかよしランド、児セビクス、オンライン広場など	7	2,715

② 小学生以上対象事業

主な内容	事業数	参加者(人)
かがくあそび、リクエスト月間、ものづくり講座など	29	11,774

※移動児童センター 2回 121人参加

センターを利用しにくい宗岡第3小学校、志木第4小学校へ玩具や簡単工作などを持参して出向き、児童健全育成の場と機会を提供しセンターの利用の契機とした。

③ 地域育成事業

主な内容	事業数	参加者 (人)
こどもマルシェ、総合福祉センターまつりなど	6	607

※しきっこあつまれ！市長といっしょに〇×クイズ・じゃんけん大会 67人参加

市長、教育長を招き〇×クイズ・じゃんけん大会を実施し、児童や子育て親子が楽しめる地域交流の場を提供した。

④ 相談事業

主な内容	事業数	相談件数 (件)
子育て相談、こども相談	2	404

※保護者や利用児童の生活環境などにおける諸問題の早期発見や発生予防に努め、相談に応じた。

(3) 児童センター運営委員会

1回 7人出席

(4) モニタリング調査

利用者のニーズを把握し、事業運営に生かした。 回答者数 100人

(5) 緊急時対策

① 職員訓練（地震や火災を想定した保護者への連絡、ケガの場合の救急車による病院搬送など、その場に応じた適切な緊急時対応訓練） 毎月1回 12回実施

② ミニミニ避難訓練（利用者とともに、地震や火災、不審者侵入を想定）

4回実施 延べ58人参加

(6) 職員研修

① 外部研修 12件 延べ21人参加

② 内部研修 2件 延べ16人参加

4 主要な施策の成果（宗岡子育て支援センター）

(1) 利用状況

開館日数353日

(人)

あそびの広場		子育て支援事業・ 相談事業など	合 計
子ども	保護者		
5, 543	4, 617	6, 828	16, 988

(2) 事業実施状況

① あそびの広場

主な内容	回数(回)	参加者(人)
自由遊びや交流の場の提供(対面)	318	10,111
手あそび、歌あそび等の配信(オンライン)	21	49

② 子育て親子交流事業

主な内容	事業数	参加者(人)
オンライン講座、対象別広場、誕生日手形など	9	2,713

③ 子育て支援事業

主な内容	事業数	参加者(人)
親子講座、児セビクス、なかよしランドなど	16	2,717

④ 相談事業

ア. 子育て相談 345件 (件)

	睡眠	食事	排泄	発育	発達障がい	育児一般	ストレス虐待	保健	家庭地域	合計
児童	15	32	12	9	22	156	3	30	29	308
大人	—	—	—	—	—	2	15	3	17	37

イ. 専門相談 43回 146件

事業名	回数(回)	相談件数(件)	事業名	回数(回)	相談件数(件)
小児科医師相談	5	21	まんま相談	12	36
歯の健康相談	2	14	出張健康相談	2	14
栄養相談	2	12	巡回発達相談	2	7
おっぱい相談	6	11	子育て応援パートナー	12	31

⑤ 地域育成事業 7事業 543人

「しきっこあつまれ!市長といっしょに〇×クイズ・じゃんけん大会」など、地域の親子が集い楽しめる事業を児童センター等と協働し実施した。

⑥ 見学者及び赤ちゃんの駅利用者など 364人

(3) モニタリング調査

利用者のニーズを把握し、事業運営に活かした。 回答者数70人

(4) 緊急時対策

① 職員訓練(地震や火災を想定した保護者への連絡、ケガの場合の救急車による病院搬送など、その場に応じた適切な緊急時対応訓練) 毎月1回 12回実施

② ミニミニ避難訓練(利用者とともに、地震や火災、不審者侵入を想定) 4回実施 延べ58人参加

(5) 職員研修

① 外部研修 8件 延べ12人参加

② 内部研修 2件 延べ13人参加

17 放課後子ども教室・学童保育クラブ

(こども未来課)

1 事業の概要

市からの委託により、宗岡地区4小学校の全児童を対象に、安心・安全に過ごすことができる放課後の居場所として、学校内や学童保育専用施設で学習を支援するほか、遊び・体験・交流活動等行う「放課後志木っ子タイム事業（全児童を対象とする『放課後子ども教室』と就労家庭等の児童を対象とする『学童保育クラブ』を一体的に運営する事業）」を実施した。

2 重点事業及び新規事業（重点事業：**重**、新規事業：**新**）

重 体験・交流活動を展開

地域の「市民先生」による体験プログラムをコロナ禍前の水準に戻すとともに、新規のプログラムを開発し、より多彩な体験・交流活動を展開して利用者の増加につなげた。

新 見守りスタッフの協力の促進

地域住民に児童の見守りの協力を呼びかけるため、SNS及び社協だよりでの広報活動を積極的に行い、22人の新規登録につなげた。

新 「放課後志木っ子タイムフェス」の開催

児童の主体性や社会性を育むことを目的として、児童が主役となり企画運営した「放課後志木っ子タイムフェス」を開催した。フェス同日には、親子参加プログラムを実施し、保護者に事業内容の周知を図った。

3 主要な施策の成果

(1) 利用状況

区分	学童保育クラブ		放課後子ども教室	
	開所日数(日)	利用人数(人)	開室日数(日)	利用人数(人)
むねおか	293	5,955	243	7,368
むねに	293	4,720	243	6,704
むねさん	293	5,433	243	7,441
むねよん	293	8,617	243	10,491
合計		24,725		32,004
状況	通常開所		【令和5年4月1日～5月7日】 事前予約制の継続（新型コロナウイルス感染拡大防止対策） 【令和5年5月8日～2月29日】 新型コロナウイルス感染症第5類移行後も事前予約制を継続 【令和6年3月1日～3月31日】 通常開室	

(2) 事業実施状況

① 放課後子ども教室体験プログラム

主な内容	回数(回)	人数(人)
市民先生による体験活動の提供	52	822
市民先生とのオンライン交流会	1	21
市民団体との交流活動	80	3,380
外部講師による社会教育事業の提供	5	220

② 自主学習促進事業

主な内容	回数(回)	人数(人)
学習支援	97	4,635
放課後学習教室	118	1,953
宗岡第二公民館図書室による図書の配達	9	

③ 地域交流事業

主な内容	回数(回)	人数(人)
市内高校生との交流	2	66
総合福祉センターまつりに参加(展示)	1	

④ 保護者説明会及び参観

主な内容	回数(回)	人数(人)
令和6年度学童保育クラブ入所説明会・面接	1	96
放課後志木っ子タイムフェス	1	35
夏休み説明会	保護者専用アプリでの動画配信	

⑤ 運営委員会

主な内容	回数(回)	人数(人)
適切な運営と事業活性化のための意見交換	4	24

⑥ こども未来課事業

主な内容	回数(回)	人数(人)
ミニ移動児童センターの共催	1	62
こどもマルシェ、総合福祉センターまつりの協力	2	

(3) 緊急時対策

安全計画を策定(志木市放課後健全育成事業での努力義務)して防災・防犯意識をより一層高め、必要な訓練を年3回以上、シェイクアウト訓練を月1回必ず実施して有事に備えた。

(4) 職員研修

- ① 放課後児童支援員認定資格研修 4件 6人参加
- ② 外部研修 21件 延べ88人参加
- ③ 内部研修 8件 延べ219人参加
- ④ 宗岡地区4小学校福祉体験授業
 - アイマスク体験 4校 延べ8人参加
 - 車椅子体験 3校 延べ8人参加